

## 人文社会科学系諸学会関係各位

### 「人文社会科学系諸学会男女共同参画連絡会」設立準備会へのお誘い

#### 趣旨

#### 1. 男女共同参画（gender equality）に関する人文社会科学系諸学会連絡会の必要性について

既に自然科学系諸学会においては2002年に「男女共同参画学協会連絡会」が発足し、文部科学省および内閣府男女共同参画局等々の後援の下に毎年開催されるシンポジウムをはじめ、各方面への諸提言の表明など、インパクトのある諸活動を持続的に展開している。その規模は2012年現在、48の正式加盟学協会に加えて24のオブザーバー加盟学協会を包含するに至る。しかしこの連絡会は「科学・技術の分野」に限定される（当該連絡会規約「2. 目的」に明記）。

一方、人文社会科学系諸学会における男女共同参画に関する取り組みは、各学会の個別的対応に委ねられており、その結果、看過できない差異が分野別に生じていることもまた事実である。このような状況は等閑視されて然るべきものではなく、自然科学系の場合とは本質的に異なる教育・研究環境を共有する人文社会科学系諸学会相互の連携を通して、総合的見地から実効的な方策を模索することが求められる。人文社会科学の根源的研究対象は「人間性（humanitas）」に集約され、その次元において希求される男女共同参画のあり方を、表層的時流に左右されることなく提起し続ける知性の連携は、特に本邦において重要な意義を持つと思われる。

上記の現状を踏まえ、ここに、人文社会科学系諸学会における男女共同参画連絡会の設立を提案する。その体制を構築するために必要な設立準備会へのご参加を、関係各位に呼びかける次第である。このような実質的な連携作業を通して、男女共同参画のみならず、更には本邦における人文社会科学系諸分野の教育・研究体制を巡る閉塞状況が少しでも改善されることを切に願う。

#### 2. 設立準備会の機能および体制の概略

- (1) 人文社会科学系諸学会における男女共同参画連絡会の理念、即ち具体的には趣意書（連絡会の目的・活動）の作成。
- (2) 連携体制構築のために必要な規約・事務局の設置のあり方等々に関する諸方針の決定。
- (3) 2014年度より連絡会を発足させるために、MLでの意見交換および年数回の会合開催を通して、上記事項に関する合意形成の場を設ける。
- (4) 代表 辻村みよ子（明治大学）・事務担当 日本哲学会有志

#### 3. 人文社会科学系諸学会関係各位へのお願ひ

設立準備会には、特に女性研究者の少ない学会および男女共同参画を進めている大規模学会等に参加していただきたい。皆様には、学会公認のお立場として相応しい会員（複数可）の派遣をお願い申し上げると共に、それが困難な場合には、所属学会との今後の調整を視野に入れつつ、個人的お立場としてご参加いただきたく、このお願いを学会員の他の方々にもお知らせいただければ幸いである。幅広い分野の方々に自由に積極的にご参加頂き、忌憚のないご意見を賜りたい。

#### 4. 連絡先

上記趣旨にご賛同いただける方々は、お手数おかけいたしますが、(1)ご氏名、(2)ご所属学会名（幾つでも）および学会公認の有無、(3)メールアドレスを明記の上、以下の連絡先までご一報下さい。また、判断を保留なさいます場合でも、ご意見およびご質問等お寄せいただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

連絡会設立準備会：gender\_equality@freeml.com

5. 尚, 設立準備会の初回会合は2013年4月2日に開催いたしました。活動状況等は設立準備会ホームページ <https://sites.google.com/site/wlb2013japan/> を通して随時ご報告いたします。

2013年4月2日

呼びかけ人有志 (2013年4月2日現在・アイウエオ順)

穂田照子 (コミュニケーション学)・池田弘乃 (法学)・石井砂母亜 (キリスト教学・哲学)・和泉ちえ (哲学)・上野千鶴子 (社会学)・江原由美子 (社会学)・岡野八代 (政治学)・岡本由起子 (哲学)・小川眞里子 (科学史)・隠岐さや香 (社会思想史・科学史)・ギブソン松井佳子 (比較文学・批評理論)・後藤弘子 (刑法学)・小島優子 (哲学)・齋藤瞳 (現象学・哲学)・桜井万里子 (西洋古典学・西洋史)・財部香枝 (博物館学・科学史)・谷俊子 (経営倫理学)・辻村みよ子 (憲法学)・古澤ゆう子 (西洋古典学・独文学)・巻美矢紀 (憲法学)・村上祐子 (哲学)・山本真鳥 (文化人類学)